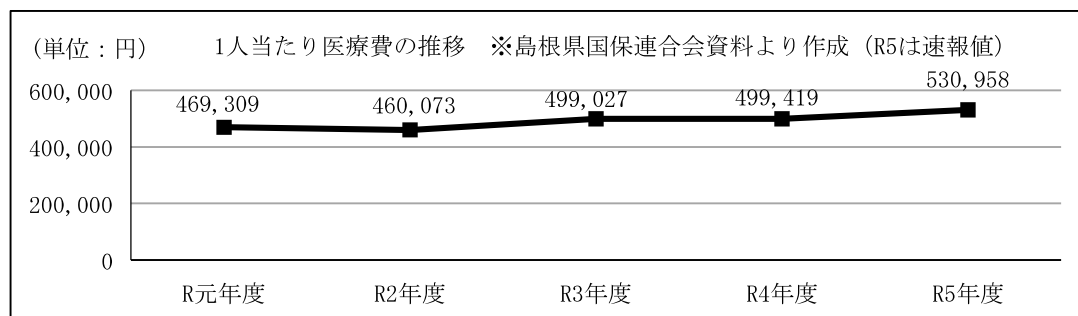


【事業名称】	事業費	国・県支出金	地方債	その他	一般財源
【総務費】 職員の人件費、各種システム使用料、負担金等の支出	89,645,627円	16,360,000円	0円	94,324円	73,191,303円
【事業費納付金】 島根県に納付する納付金	843,175,987円	51,678,000円	0円	0円	791,497,987円
【保険給付費】	2,988,484,514円	2,983,044,285円	0円	5,440,229円	0円

区 分		令和5年度	対前年比	令和4年度
被保険者数		6,160 人	△5.56%	6,523 人
世帯数		4,171 世帯	△4.31%	4,359 世帯
保険税 (現年)	一人当たり調定額	99,509 円	1.99%	97,567 円
	調定額	612,977,400 円	△3.68%	636,427,700 円
	収入額	594,797,051 円	△3.97%	619,367,072 円
	収納率	97.03 %	△0.30%	97.32 %

区 分	令和5年度	対前年比	令和4年度
療養給付費	2,551,135,638 円	△0.67%	2,568,266,380 円
療養費	6,289,623 円	△15.60%	7,451,776 円
高額療養費	418,979,691 円	△1.51%	425,406,447 円
その他	12,079,562 円	△16.82%	14,522,908 円
合 計	2,988,484,514 円	△0.90%	3,015,647,511 円



国民健康保険税は、被保険者数及び世帯数の減に伴い、収納総額も減となった。
保険給付費については、総額で2,700万円余の減（△0.9％）となったが、1人当たりの医療費は31,539円と大幅な増（5.9％）となった。

【疾病予防費】 2,917,404円 0円 0円 0円 2,917,404円

国保の被保険者を対象に頭部の磁気共鳴断層撮影（MRI）による脳健診を実施し、定員170名に対し、153名の受診があった。

- 対象者：S23.4.1からS59.3.31生まれ（令和4年度に受診していない方）

【医療費適正化事業費】 2,706,420円 741,000円 0円 0円 1,965,420円

「後発医薬品自己負担軽減例通知」を年3回、「医療費通知」を年4回發送し、ジェネリック医薬品の利用促進、患者負担の軽減、医療保険財政の改善を図った。重複・多剤投与者に対する服薬情報通知を送付し、ポリファーマシーの是正を図った。

【ミニドック健診事業】 7,423,234円 0円 0円 0円 7,423,234円

国保被保険者を対象に疾病の早期発見・早期治療を目的として実施し、定員320名に対し320名の申込みがあり、313名の受診があった。

- 対象者：40歳から74歳まで（令和4年度に受診していない方）
- 内容：特定健診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、腹部エコー（オプション）前立腺がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診

【特定健康診査等事業】 33,093,616円 13,492,000円 0円 0円 19,601,616円

主にメタボリックシンドローム及びその予備群の早期発見、生活習慣病の予防・改善を目的として実施した。受診率向上のため、健診期間中に受診勧奨通知を行った。また、健診期間終了時点の全未受診者に受診勧奨を行い、集団フォロー健診を実施した。各地区健康推進会議総会でのPRを行った。

- 対象者：40歳から74歳まで
- 内容：身体計測、診察、血圧測定、血液検査、尿検査、貧血検査、心電図検査、眼底検査、尿酸、クレアチニン検査

【基金費】 65,058,335円 0円 0円 58,335円 65,000,000円

- 基金の状況

令和4年度末基金残高		233,342,121円
令和5年度 基金の動き	新規積立	65,000,000円
	利子	58,335円
	取崩	40,000,000円
令和5年度末基金残高		258,400,456円

【その他事業費】 13,892,133円 0円 0円 9,984,217円 3,907,916円

- 共同事業拠出金
- 被保険者に税還付、国・県に償還支払い